

(1) 1 学 年 : 31 期 生

基礎分野

科目	看護と情報	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ヤスナガタイチ 安永太地
	Nursing and Information	実施時期	1年次 前期		
授業概要	<p>情報社会の一員として情報についての理解を深め、活用する能力の育成を目指す。ICTを活用するための基礎及び基礎的能力である情報リテラシー(ITを用いた情報活用能力)、情報倫理を学ぶ。</p>				
DPとの関連	<p>DPⅡ-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。</p>				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	情報社会	講義・演習			
2	情報とコミュニケーション(1)ICT編	講義・演習			
2	情報とコミュニケーション(2)テキスト編	講義・演習			
4	情報とコミュニケーション(3)写真・動画	講義・演習			
5	情報とコミュニケーション(4)活用編	講義・演習			
6	情報セキュリティ(1)基礎知識編	講義・演習			
7	情報セキュリティ(2)アプリ編	講義・演習			
8	著作権とマナー(1)基礎編	講義・演習			
2	著作権とマナー(2)プライバシー編	講義・演習			
10	情報とリスク(1)ヒューマンエラー編	講義・演習			
11	情報とリスク(2)ハラスメント編	講義・演習			
12	情報とリスク(3)ゲームやネット長時間利用編	講義・演習			
13	課題	講義・演習			
14	発表	講義・演習			
15	最終評価	講義・演習			
備考	<p>履修条件:看護と情報の基礎を学び、活用していくことで、専門職業人として働く準備をします。課外活動やその他の学校行事と関連させながら修得していきますので、ポートフォリオを活用します。</p>				
評価方法	<p>最終レポート、毎回の提出物によって評価します。</p>				
使用テキスト	<p>テキストは授業中に指示します。</p>				
参考図書					

基礎分野

科目	コミュニケーション論	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ウエフジミキョ 上藤美紀代
	Communication Theory	実施時期	1年次 後期		
授業概要	よりよい人間関係を築くために必要な「ケア・コミュニケーション」を実践するために知識、技術、心構えを習得する。特に他者を思いやる気持ちの表現方法や伝え方を学び、人との関わりに自信をもつ。				
DPとの関連	DPⅡ-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPⅡ-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPⅢ 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。 DPⅣ-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	オリエンテーション(「声のもつ力」について)	講義・演習			
2	コミュニケーションの基礎 自己を知る(声の出し方・遣い方を通して)	クラス別 講義・演習			
3	コミュニケーションの基礎 自己を知る(自己の話し方・きき方の検討)	クラス別 講義・演習			
4	コミュニケーションの基礎 観る(からだのサインを読み取る)	クラス別 講義・演習			
5	インタビューを通して他者との関わりを体験する(相手への興味・関心)	クラス別 講義・演習			
6	インタビューを通して他者との関わりを体験する(話の聞き方)	クラス別 講義・演習			
7	インタビューを通して他者との関わりを体験する(話の引き出し方)	クラス別 講義・演習			
8	「聴く」とは(相手の話したいことを引き出し、受けとめる)	クラス別 講義・演習			
9	ケア・コミュニケーションの基本的な心構え	講義・演習			
10	コミュニケーション・ツールとしての絵本の活用(「絵本のもつ力」について)	講義・演習			
11	ロールプレイング(カウンセリングとは)	ロールプレイング、カウンセリング クラス別 講義・演習			
12	ロールプレイング(模擬患者)	クラス別 講義・演習			
13	チーム医療における看護師の役割	講義・演習			
14	アサーティブ・コミュニケーション	講義・演習			
15	まとめ 傾聴の重要性(感性を磨き、人間力を高める)＝患者・家族が看護師に求めるもの・こと	講義・演習			
備考					
評価方法	筆記試験 課題レポート 授業中のミニレポート 取り組み姿勢 出席状況				
使用テキスト	1)星野欣生:人間関係づくりトレーニング, 金子書房, 2002. 2)麻生塾ケア・コミュニケーション研究会:ケア・コミュニケーション Cere Communication, (株)ウイネット, 2007.				
参考図書					

基礎分野

科目	看護とマナー	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ウエフジミキヨ 上藤美紀代
	Nursing and Manners	実施時期	1年次 前期		
授業概要	患者とより親密な、望ましい人間関係を構築するためのスキルとして、看護職のマナーを習得する。同時に地域に貢献し活躍できる人材となることを目的とする。				
DPとの関連	DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPII-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	オリエンテーション			講義・演習	
2	マナーの基本			講義・演習	
3	第一印象の重要性 表情・身だしなみ	クラス別		講義・演習	
4	第一印象の重要性 話し方	クラス別		講義・演習	
5	第一印象の重要性 態度	クラス別		講義・演習	
6	訪問看護の心得	クラス別		講義・演習	
7	敬語(敬意・思いやりの伝え方)			講義・演習	
8	好感を持たれる言葉遣い			講義・演習	
9	電話の掛け方・受け方	クラス別		講義・演習	
10	電話の掛け方・受け方 実践	クラス別		講義・演習	
11	メールの書き方			講義・演習	
12	報・連・相			講義・演習	
13	タブー集・クレーム対応			講義・演習	
14	パワハラ・セクハラ・モラハラ	クラス別		講義・演習	
15	補足・まとめ			講義・演習	
備考					
評価方法	筆記試験 課題レポート 授業中のミニレポート 取り組み姿勢 出席状況				
使用テキスト	1)濱川博招／島川久美子:第一印象がよくなるナースのマナー, ぱる出版, 2014. 2)三瓶舞紀子:看護の現場ですぐ役立つ 患者接遇のキホン, 秀和システム, 2018.				
参考図書					

専門基礎分野

科目	解剖生理学 I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ノ ナカマ キ 野中真紀
	Anatomical Physiology I	実施時期	1年次 前期		
授業概要	人間は生命維持に必要なエネルギーを得るために食物を消化・吸収・排泄・代謝・貯留する。その一連の仕組みについて理解するとともに、内部環境の変化と恒常性が維持される体液の調整と尿の生成、内臓機能の調節についての理解を形態機能学の視点から理解する。				
DPとの関連	DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	食べるについて考えてみよう！	講義・GW			
2	食行動を分析してみよう！	講義・GW			
3	消化と吸収に関わる臓器について知ろう！:消化管の構造と機能	講義			
4	消化液の作用とは？	講義	小テスト		
5	栄養分の吸収、吸収後の栄養分と肝臓について知ろう！	講義	小テスト		
6	消化器の概観図を作ってみよう！	GW			
7	トイレに行く行動について意識してみよう！	講義・GW	小テスト		
8	排便のメカニズムを理解しよう！	講義			
9	排尿のメカニズムを理解しよう！	講義	小テスト		
10	尿はどうやって作られているの？:尿の生成について	講義	小テスト		
11	腎臓にはどんな働きがあるの？	講義	小テスト		
12	恒常性維持のために身体はどんな働きをするの？:自立神経とホルモン	講義	小テスト		
13	恒常性維持のために身体はどんな働きをするの？:調節機構	講義	小テスト		
14	消化器系フィジカルアセスメント	演習			
15	まとめ	発表			
備考	GW:グループワーク				
評価方法	評価方法:ルーブリック、課題、小テスト、筆記試験				
使用テキスト	1)系統看護学講座 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学,医学書院. 2)医療情報科学研究所:フィジカルアセスメントがみえる,メディックメディア,2015. 3)菱沼典子:看護 形態機能学 生活行動からみるからだ 第4版,日本看護協会出版会,2017.				
参考図書	1)医療情報科学研究所:病気がみえる 消化器,糖尿病・代謝・内分泌,腎・泌尿器,メディックメディア,2019. 2)玉先生:のほほん 解剖生理学,長岡書店,2016. 3)小寺豊彦:看護につながる解剖生理 改訂版,照林社,2016. 4)佐藤達夫:新版 からだの地図帳 第9刷,講談社,2019. その他、参考図書は随時授業内で紹介していく。				

専門基礎分野

科目	解剖生理学Ⅱ	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ヤマシタタイヘイ 山下泰平 ノノカマキ 野中真紀
	Anatomical PhysiologyⅡ	実施時期	1年次 後期		
授業概要	人間は生命を維持するため常に酸素を取り入れ、二酸化炭素を排出している。この生命維持の根幹となる呼吸・循環の構造と機能について、また体内を循環する血液・リンパのはたらきについて形態機能学の視点から理解する。				
DPとの関連	DPⅠ-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	人間の身体ってどうなっているの？			講義	授業の進行度に合わせて、 単元毎に 小テストを行う
2	息をするってどういうこと？			講義	
3	吸ったり・・・吐いたり・・・どうやるの？			講義	
4	生きるための細胞はどんなことをしているの？			講義	
5	苦しい時ってどうなっているの？		山下	講義	
6	心臓の血液循環って2つあるの？違いをみていこう			講義	
7	心臓ってどんな構造になっているの？			講義	
8	心臓を取り巻く重要な血管は何？			講義	
9	動脈と静脈は何が違うの？			講義	
10	心臓は電気が流れているの？身体を使って覚えていこう			講義	
11	心電図って何？波形から何がわかるの？			講義	
12	生きていることってどういうこと？			講義	
13	身体の内側ってどうなっているの？		野中	講義	
14	身体を守る仕組みは何だろう？			講義	
15	人形やお互いの身体を用いて5感を使って実際に診ていこう		山下・野中	演習	
備考	※著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる。 ※レポート、リフレクションの提出が期限に遅れた場合、原則として提出が不可能となる。欠席の場合は、0点とする。 ※状況により、各回数が前後する場合がある。 ※マイクロソフトチームズやスクールタクトを利用する。				
評価方法	講義中の態度、課題提出状況、小テスト、筆記試験結果により評価する				
使用テキスト	1)系統看護学講座 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学, 医学書院。 2)医療情報科学研究所:フィジカルアセスメントがみえる, メディックメディア, 2015。 3)菱沼典子:看護 形態機能学 生活行動からみるからだ 第4版, 日本看護協会出版会, 2017。				
参考図書	1)医療情報科学研究所:病気がみえる 呼吸器 第3版,メディックメディア, 2018。 2)医療情報科学研究所:かんテキ 循環器, メディカ出版, 2019。 3)医療情報科学研究所:イメカラ 呼吸器・循環器, メディックメディア, 2011。 4)医療情報科学研究所:なぜ? どうして? 2020-2021 ③消化管/肝胆膵/循環器, メディックメディア, 2019。 5)医療情報科学研究所:なぜ? どうして? 2020-2021 ⑤免疫/血液/感染症/呼吸器, メディックメディア, 2019。				

専門基礎分野

科目	病態学 I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ミヤチ マサヒロ フルサワ マコト 宮地正彦 古澤 眞
	Pathophysiology I	実施時期	1年次 前期		ヤマグチユウキ イシカワユウミ 山口裕貴 石川友美 カネコ ヒトミ 兼子仁美
授業概要	<p>消化器系、内分泌系、代謝系、感覚器系(耳、鼻、咽喉)の疾患の病態、治療検査について学び、障害を持つ患者の身体的アセスメントをするための基礎的知識を習得する。</p>				
DPとの関連	<p>DP I-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。</p>				
回	授業計画			方法	テスト等
1	1	消化器系の検査と治療①	4時間 宮地正彦	講義	}
2		消化器系の検査と治療②		講義	
3		消化器系の疾患の理解		講義	
4		食道がん、胃がん、十二指腸潰瘍	12時間 石川友美	講義	50点
5		潰瘍性大腸炎、イレウス		講義	
6		結腸・直腸がん		講義	
7		肝炎、胆管炎、膵炎、肝硬変、胆石症		講義	
8		消化器系の症状とその病態生理		}	
9	2	内分泌、代謝系疾患の検査、治療①	2時間 古澤眞	講義	40点
10		内分泌、代謝系疾患の検査、治療②		講義	
11		内分泌、代謝系疾患の理解	8時間 兼子仁美	講義	
12		メタボリックシンドローム、糖尿病、痛風		講義	
13		内分泌、代謝系障害の症状とその病態生理		}	
14	3	耳、鼻、咽喉の障害	4時間 山口裕貴	講義	10点
15		炎症、腫瘍、鼻出血		講義	
備考					
評価方法	<p>担当講師毎に行われる筆記試験の結果で評価する。</p>				
使用テキスト	<p>1)系統看護学講座 成人看護学[5] 消化器, 医学書院. 2)系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝, 医学書院. 3)系統看護学講座 成人看護学[14] 耳鼻咽喉, 医学書院.</p>				
参考図書					

専門基礎分野

科目	病態学Ⅱ	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	イモカワシ ロウ マツナガマサキ 妹川 史朗 松永 正紀
	PathophysiologyⅡ	実施時期	1年次 後期		オオハシヒロユキ クリタ 大橋 弘幸 栗田めぐみ スズキ シノブ 鈴木 志帆
授業概要	呼吸器系、循環器系、造血器系、アレルギー・免疫系の疾患の病態、治療、検査について学び、障害を持つ患者の身体的アセスメントをするための基礎的知識を習得する。				
DPとの関連	DPⅠ-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	1 呼吸器系の検査と治療・処置①	4時間	妹川史朗	講義	35点
2	呼吸器系の検査と治療・処置②			講義	
3	呼吸器系疾患の理解・呼吸器系の症状とその病態生理			講義	
4	気管支炎、肺炎、間質性肺炎 気管支喘息、	6時間	栗田めぐみ	講義	35点
5	COPD、肺塞栓、気胸、肺癌、中皮腫			講義	
6	2 循環器系の検査と治療・処置①	4時間	松永正紀	講義	
7	循環器系の検査と治療・処置②			講義	35点
8	循環器系疾患の理解・循環器系の症状とその病態生理			講義	
9	虚血性心疾患、心筋症、心不全、心タンポナーデ、不整脈、弁膜症、大動脈瘤	6時間	鈴木志帆	講義	
10	大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症、高血圧、低血圧			講義	30点
11	3 造血器、アレルギー免疫不全			講義	
12	造血器の検査・診断と症状・病態生理	10時間	大橋弘幸	講義	
13	貧血、白血球減少、出血性疾患、白血病			講義	30点
14	アレルギー免疫不全の検査と治療・症状と疾患の理解			講義	
15	アレルギー反応と分類、蕁麻疹、SLE、関節リウマチ、シェーグレン症候群			講義	
備考					
評価方法	担当講師毎に行われる筆記試験の結果で評価する。				
使用テキスト	1)系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器, 医学書院. 2)系統看護学講座 成人看護学[3] 循環器, 医学書院. 3)系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器, 医学書院. 4)系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] アレルギー・膠原病・感染, 医学書院.				
参考図書					



専門基礎分野

科目	臨床栄養学	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	アマノ カヨコ 天野香世子
	Clinical Nutrition	実施時期	1年次 前期		
授業概要	<p>栄養管理とは、すべての患者に必要な治療行為であり、多職種が協同して行うチーム医療である。臨床現場で求められる栄養管理の基礎知識および技術を学ぶ。</p>				
DPとの関連	<p>DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。</p>				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	チーム医療と栄養管理、NST	講義			
2	患者食の分類、約束食事箋	講義			
3	栄養アセスメント	講義、演習			
4	成人期の食事、メタボリックシンドロームの予防	講義、演習			
5	高齢期の食事、フレイル・サルコペニア、嚥下調整食	講義、演習			
6	小児期の食事、妊娠・授乳期の食事	講義			
7	静脈栄養法、経腸栄養法	講義			
8	糖尿病の栄養管理	講義、演習			
9	腎臓病の栄養管理	講義			
10	循環器疾患の栄養管理	講義			
11	消化器疾患の栄養管理	講義、体験			
12	脳血管疾患の栄養管理	講義			
13	がんの栄養管理	講義、体験			
14	低栄養、褥瘡の栄養管理	講義、演習			
15	臨床栄養学まとめ、テスト	テスト、解説	テスト		
備考					
評価方法	<p>筆記試験の結果及び授業態度を総合的に評価する。</p>				
使用テキスト	<p>1)系統看護学講座 人体の構造と機能[2] 栄養学, 医学書院. 2)系統看護学講座 栄養食事療法, 医学書院. 3)実教出版編集部:カラーグラフ食品成分表 五訂, 実教出版, 2011.</p>				
参考図書					

専門基礎分野

科目	臨床薬理学	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	タキ ユウスケ 灌 祐介
	Clinical Pharmacology	実施時期	1年次 後期		
授業概要	看護師として必要な疾病の治療や予防などに使用される薬剤の作用機序、副作用や特徴等を学ぶことで、医療現場に出た際に各薬剤を適正使用し、適切な指導やアセスメントができるよう学ぶ。				
DPとの関連	DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	薬物治療の基礎(医薬品の取り扱い)	講義			
2	薬物治療の基礎(薬物治療の実際)	講義			
3	対症療法の臨床薬理学(解熱鎮痛薬、制吐薬、便秘治療薬、下痢治療薬)	講義			
4	対症療法の臨床薬理学(鎮咳・去痰薬、鎮静薬、睡眠薬)	講義			
5	主要疾患の臨床薬理学(高血圧、急性冠症候群、心不全、不整脈)	講義			
6	主要疾患の臨床薬理学(抗血小板・抗凝固療法、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患)	講義			
7	主要疾患の臨床薬理学(胃・十二指腸潰瘍、胃食道逆流性食道炎、慢性肝炎)	講義			
8	主要疾患の臨床薬理学(慢性腎臓病、透析患者における薬剤管理、糖尿病)	講義			
9	主要疾患の臨床薬理学(脂質異常症、骨粗鬆症、関節リウマチ)	講義			
10	主要疾患の臨床薬理学(パーキンソン病、認知症、うつ病・うつ状態、てんかん)	講義			
11	特定の行為に関する臨床薬理学(循環動態にかかわる持続点滴中の薬剤の投与と調整)	講義			
12	特定の行為に関する臨床薬理学(栄養および水分管理にかかわる薬剤の投与と調整、インスリン投与量の調整)	講義			
13	特定の行為に関する臨床薬理学(精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整、感染兆候がある者に対する薬物の臨時投与)	講義			
14	特定の行為に関する臨床薬理学(副腎皮質ステロイド薬による治療、術後ならびに呼吸管理にかかわる薬物の投与と調整)	講義			
15	臨床薬理学まとめ	講義			
備考					
評価方法	筆記試験の結果と授業態度などで総合的に判断する。				
使用テキスト	1)系統看護学講座 臨床薬理学, 医学書院.				
参考図書					

専門基礎分野

科目	病院組織論	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 教員	ヤマモト ヨウコ 山本洋子	スズキ ショウハチ 鈴木昌八
	Hospital Organization Theory	実施時期	1年次 後期		ミヤチ マサヒコ 宮地正彦	スズキ モトヒロ 鈴木基裕
授業概要	病院組織における経営・経済的課題、患者満足を高めるための資源の効果的・効率的配分の実際を学ぶ。					
DPとの関連	DPⅢ 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。					
回	授業計画			方法	テスト等	
1	病院組織とは			講義		
2	病院組織における現状及び課題			講義		
3	磐田市立総合病院の病院経営の実際			講義		
4	中東遠総合医療センターの病院経営の実際			講義		
5	市立御前崎総合病院の病院経営の実際			講義		
6	菊川市立総合病院の病院経営の実際			講義		
7	公立森町病院の病院経営の実際			講義		
8	まとめ			講義		
備考						
評価方法	レポート、筆記試験等 *評価方法は授業内で指示する					
使用テキスト	1)系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔1〕医療概論, 医学書院. 2)系統看護学講座 総合医療論, 医学書院.					
参考図書						

専門基礎分野

科目	ヘルスプロモーション	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 教員	フジワラ ヨリ コ 藤原依子 マツナガ ミヤコ 松永 都
	Health Promotion	実施時期	1年次 後期		
授業概要	1986年のオタワ憲章の中でヘルスプロモーションは「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されている。この講義では、「健康」「教育」「医療」「地域」に注目し、人々の生活の質、QOLを高めるための取り組みや環境について学び、自らが考える健康づくりを作成する。				
DPとの関連	DPⅠ-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPⅢ 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	授業の概要と進め方について	講義			
2	地域におけるヘルスプロモーションの基本的な考え方について	講義			
3	健康増進と一次予防の重要性	講義			
4	ライフサイクル別の保健活動と行動変容への支援	講義			
5	住民主体の保健活動と多職種連携について	講義			
6	健康の概念と人々の生活、健康・福祉にかかわる施策と行政の役割(松永)	講義	レポート		
7	地域包括ケアでの保健師の役割 (松永)	講義	レポート		
8	まとめ				
備考					
評価方法	個人レポート・筆記試験により評価する。				
使用テキスト	1)系統看護学講座 成人看護学[1] 成人看護学総論, 医学書院. 2)系統看護学講座 母性看護学[1] 母性看護学概論, 医学書院.				
参考図書	1)島内憲夫・鈴木美奈子:ヘルスプロモーション WHO:バンコク憲章, 垣内出版, 2012.				

専門分野

科目	看護倫理	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ナガクラサトミ 長倉里美
	Nursing ethics	実施時期	1年次 前期		
授業概要	看護を実践する際に守るべき倫理について考え、看護師としてだけでなく社会人としてどのように行動すべきかを学ぶ。また、倫理的問題を解決するための基礎的な力を育み、看護にはなぜ倫理が必要なのかを理解する。				
DPとの関連	DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPI-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPII-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPIV-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	看護学生としての倫理観とは、看護倫理のポートフォリオについて	講義			
2	看護倫理について知っておくこと(徳の倫理、原則の倫理、ケアの倫理など)	講義			
3	看護倫理について知っておくこと(倫理綱領)	講義			
4	看護にはなぜ倫理が必要か①	GW			
5	看護倫理を考えよう(事例;母子)	GW			
6	看護倫理を考えよう(事例;子ども)	GW			
7	看護倫理を考えよう(事例;成人)	GW			
8	看護倫理を考えよう(事例;老年者)	GW			
9	看護倫理を考えよう(事例;地域・在宅)	GW			
10	看護倫理を考えよう(事例;精神)	GW			
11	看護にはなぜ倫理が必要か②	GW			
12	自己の価値観を探る	個人ワーク			
13	看護にはなぜ倫理が必要か③	個人ワーク			
14	自己ポートフォリオの発表会	演習			
15	看護倫理まとめ	GW			
備考	著しく授業態度が悪い場合(EX.居眠り、私語等)は欠席扱いとなる。 課題の提出が期限に遅れた場合、原則として提出が不可能となる。従って、課題の評価はされない。 スクールタクトを活用する(レスポンス、課題、ポートフォリオ) 小テストは4回目以降に実施するが、詳細は授業中にアナウンスをする。				
評価方法	グループワーク参加状況、授業態度により総合的に判断する。 別に示すルーブリック評価表30点、レスポンス等3点×15回(45点)、課題10点、スクールタクトポートフォリオ5点 小テスト5点				
使用テキスト	1)系統看護学講座 看護倫理, 医学書院.				
参考図書	1)小西恵美子編:看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ改訂第3版, 南江堂, 2021. 2)看護法令要覧 日本看護協会出版会 3)吉川洋子・杉谷藤子監修:学生のための患者さんの声に学ぶ看護倫理, 日本看護協会出版会, 2010.				

専門分野

科目	看護の思考	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ヨンドウユミ 近藤由美 アワイミサト 粟井美里
	Thoughts On Nursing	実施時期	1年次 通年		
授業概要	看護における看護師の思考には、看護過程や臨床判断とそれを支えるアセスメント、クリティカルシンキング、リフレクションがあることを理解し、その看護師の思考を養う。				
DPとの関連	DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPI-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPII-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	1. 看護師の思考 1)看護師の思考を読み解く	講義・演習			
2	2)看護師に求められる思考	講義			
3	2. 看護過程・臨床判断とアセスメント 1)看護過程	講義・演習			
4	2)アセスメント演習 3)看護過程展開演習	演習	ルーブリック		
5	4)臨床判断	講義・演習			
6	5)臨床判断演習	演習	ルーブリック		
7	3. クリティカルシンキングとリフレクション 1)クリティカルシンキング	講義・演習			
8	1)クリティカルシンキング 批判的思考のプロセス	講義・演習			
9	2)クリティカルシンキング演習	演習	ルーブリック		
10	3)リフレクション リフレクティブサイクル	講義・演習			
11	3)リフレクション 基本となるスキル	演習			
12	3)リフレクション演習	演習			
13	3)リフレクション演習	演習	ルーブリック		
14	4. 看護と思考 実践編 1)「看護師のように考える」演習	演習			
15	2)「看護師のように考える」演習	演習	ルーブリック		
備考					
評価方法	別紙(授業時に提示する)ルーブリックの認定基準による。(90点) 講義中の課題、出席、態度を評価の対象とする。(10点)				
使用テキスト	1)系統看護学講座 基礎看護学[1]看護学概論, 医学書院. 2)系統看護学講座 基礎看護学[2]基礎看護技術 I , 医学書院. 3)系統看護学講座 基礎看護学[4]臨床看護総論, 医学書院. 4) 田村由美, 池西悦子 著:看護のためのリフレクションスキルトレーニング, 看護の科学社, 2017.				
参考図書	1)三浦友理子、奥裕美 著:臨床判断ティーチングメソッド, 医学書院, 2020. その他適宜紹介する				

専門分野

科目	看護と人間	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	オオ タ ト モ エ 太田朋絵
	Nursing and Human Relations	実施時期	1年次 前期		
授業概要	看護の対象である人間を全体的な存在として捉える。また人間は、関係的な存在であると同時に、その関係性の中で生涯にわたり発達し、変化し続ける存在であるため、その人間を一生を通して理解する。				
DPとの関連	DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPI-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPIV-1 キャリアデザインを描き、看護に魅力を感じ卒業後看護専門職として働き続けられるようなビジョンを明確にすることができる。 DPIV-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DPIV-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	人間とは 人間の一生とは			講義・GW	
2	発達段階と発達課題① 乳幼児期 1			GW	
3	発達段階と発達課題① 乳幼児期 2			GW	
4	発達段階と発達課題① 乳幼児期 3			GW	小テスト
5	発達段階と発達課題② 児童期 1			GW	
6	発達段階と発達課題② 児童期 2			GW	小テスト
7	発達段階と発達課題③ 青年期 1			GW	
8	発達段階と発達課題③ 青年期 2			GW	小テスト
9	発達段階と発達課題④ 壮年期			GW	小テスト
10	発達段階と発達課題⑤ 中年期			GW	小テスト
11	発達段階と発達課題⑥ 老年期 1			GW	
12	発達段階と発達課題⑥ 老年期 2			GW	小テスト
13	看護の対象を理解するには 1			GW	
14	看護の対象を理解するには 2			GW	小テスト
15	看護の対象である人間とは			GW	
備考	グループワークに参加しない等、著しく受講態度が悪い場合は欠席扱いとなる。 提出物が期限に遅れた場合、原則としてその提出物は評価対象外となる。				
評価方法	小テスト、グループワークへの参加態度、レポート等をもとに、ルーブリックに照らして評価する。				
使用テキスト	1) 系統看護学講座 基礎看護学〔1〕看護学概論, 医学書院. 他各論テキスト等 2) 黒田裕子監修: 看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第3版, Gakken, 2021.				
参考図書	適宜紹介する				

専門分野

科目	看護と健康	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	マツノ ヨウコ 松野容子 ヒガシハラ シン 東原 慎
	Nursing and Health	実施時期	1年次 前期		
授業概要	看護専門職として自らの健康生活に対する意識を高めたうえで、身近にいる大切な人の健康を守るためのプロジェクト学習を通して身近な人の健康課題を発見し、実行可能な健康支援を提案し実行する。 また、健康とは何か、健康問題と健康管理の理解を深める。				
DPとの関連	DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPIV-1 キャリアデザインを描き、看護に魅力を感じ卒業後看護専門職として働き続けられるようなビジョンを明確にすることができる。 DPIV-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DPIV-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	オリエンテーション プロジェクト学習とは			↑ 講義	
2	自分は健康？健康ポートフォリオを作成して自己紹介してみよう			講義	
3	健康とはなにか、自分は健康か			講義・GW	
4	生活シート・身体シートによる健康評価			東原 講義・GW	
5	大切な人を守ろうプロジェクト ビジョンゴールの設定			講義	
6	大切な人を守ろうプロジェクト テーマの決定			↓ 講義	
7	工程表の作成・情報収集計画			↑ 講義	
8	情報収集(S情報・O情報、根拠となる知識)コーチングの活用			講義・GW	
9	情報収集(S情報・O情報、根拠となる知識)コーチングの活用			講義・GW	
10	情報収集・課題解決策(課題解決の根拠となる知識)			講義・GW	
11	情報収集・課題解決策(課題解決の根拠となる知識)			松野 講義・GW	
12	プレゼンテーション資料の制作			講義	
13	プレゼンテーション			演習	発表
14	再構築・成長確認			演習	
15	あらためて健康とは何か			↓ 講義・GW	
備考	提出物の期限遅れ、プレゼンテーションの欠席は評価対象外となる場合がある。 状況により各回数前後する場合がある。 マイクロソフトチームスやスクールタクトを使用する。				
評価方法	授業への取り組み姿勢、ポートフォリオ再構築や成長確認から総合的に評価する。				
使用テキスト	1) 鈴木敏恵:キャリアストーリーをポートフォリオで実現する, 日本看護協会出版会, 2014. 看護理論、解剖生理学、病態学など				
参考図書	厚生労働省 HP「健康日本21第二次」等、適宜講義内で紹介する。				



専門分野

科目	医療安全	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	コンドウユミ 近藤由美 マツノヨウコ 松野容子
	Medical Safety	実施時期	1年次 前期		
授業概要	医療現場におけるあらゆる対象の安全に関して、視点や管理の方法を学ぶ。				
DPとの関連	DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPI-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPII-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPIV-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DPIV-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
回	授業計画			方法	
1	医療における安全とは			GW	
2	医療事故を調べる			GW	
3	医療安全の取り組み		近藤	GW	
4	実習病院の医療安全対策			GW	
5	看護学生の実習と医療安全対策			GW	ルーブリック
6	看護業務における医療事故			GW	
7	療養上の世話業務における医療安全① 事例検討			GW	
8	療養上の世話業務における医療安全② 事例発表			GW	
9	診療の補助業務における医療安全① 基礎知識			GW	
10	診療の補助業務における医療安全② 事例検討・発表		松野	GW	
11	診療の補助業務における医療安全③ 事例発表			GW	
12	看護業務における医療事故ワーク			GW	
13	医療安全とコミュニケーション			GW	
14	看護業務における医療事故発表			GW	
15	まとめ			GW	
備考					
評価方法	筆記試験、グループワークへの参加態度、レポート等をもとに、ルーブリックに照らして評価する。				
使用テキスト	1) 系統看護学講座 基礎看護学[1]看護学概論, 医学書院. 2) 系統看護学講座 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ・[3]基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 3) 系統看護学講座 基礎看護学[4]臨床看護総論, 医学書院. 4) 大森武子他; 仲間とみがく看護のコミュニケーションセンス, 医歯薬出版株式会社, 2003. 5) 黒田裕子監修; 看護診断のためのよくわかる中範囲理論第3版, Gakken, 2021.				
参考図書	1) 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉[4] 看護関係法令, 医学書院. 2) 看護法令要覧, 日本看護協会出版会.				

専門分野

科目	日常生活援助技術 I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ウチヤマユミ オオ タトモ エ 内山由美 太田朋絵 外部講師
	Everyday Life Support Technology I	実施時期	1年次 前期		
授業概要	対象の生命の徴候を観察しアセスメントする技術、感染予防をするための知識と援助技術など自他ともに安全を守る技術を学ぶ。看護技術を適応するのは健康問題を有する人間であるため、どの技術を実践する際も、安全、安楽、自立(自律)、コミュニケーション、観察が含まれる。				
DPとの関連	DPI-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPII-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPIV-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	スタンダードプリコーション(標準予防策)に基づく手洗い	演習			
2	必要な防御用具の選択・着脱	演習	小テスト		
3	使用した器具の感染防止の取り扱い 感染性廃棄物の取り扱い	演習	小テスト		
4	無菌操作	演習	小テスト		
5	患者誤認防止策の実施	演習	小テスト		
6	インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告	演習	小テスト		
7	バイタルサインの測定	演習	小テスト		
8	フィジカルアセスメント	演習	小テスト		
9	身体計測	演習	小テスト		
10	一次救命処置	演習	小テスト		
11	緊急時の応援要請 止血法の実施	演習	小テスト		
12	一連のバイタルサインの測定	演習	小テスト		
13	フィジカルアセスメント・体温調節の援助	演習	小テスト		
14	実技試験	技術試験	技術試験		
15	まとめ				
備考	※著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる。 ※提出物の提出が期限に遅れた場合、原則として提出が不可能となる。				
評価方法	授業態度、課題等の提出物、ポートフォリオ、小テスト・技術試験により総合的に評価する。				
使用テキスト	1) 系統学看護学講座 [1] 基礎看護技術 I, 医学書院. 2) 系統学看護学講座 [2] 基礎看護技術 II, 医学書院. 3) 川島みどり監修;ビジュアル 基礎看護技術ガイド, 照林社 4) 坂本すが他;完全版ビジュアル 臨床看護技術ガイド, 照林社				
参考図書	1) 藤本真紀子他:看護がみえるvol.1 基礎看護技術,メディックメディア, 2018. 2) 近藤一郎他:看護がみえるvol.2 臨床看護技術,メディックメディア, 2018. 3) 黒田裕子監修;看護診断のためのよくわかる中範囲理論, Gakken				

専門分野

科目	日常生活援助技術Ⅱ	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	マツ シタ ア ミ 松下亜美
	Everyday Life Support Technology Ⅱ	実施時期	1年次 通年		
授業概要	対象を取り巻く外部環境からの働きかけにより、内部環境に影響する援助として環境調整、清潔、衣生活、さらには安楽を促す技術を修得する。 看護技術を適応するのは健康問題を有する人間であるため、どの技術を実践する際も、安全、安楽、自立(自律)、コミュニケーション、観察が含まれる。				
DPとの関連	DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPI-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPII-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPIV-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷予防)	演習			
2	快適な療養環境の整備	演習			
3	安楽な体位の調整、体位変換・保持、自動・他動運動の援助	演習			
4	安楽の促進・苦痛緩和のためのケア、体位ドレナージ、褥瘡予防ケア	演習			
5	臥床患者のリネン交換	演習			
6	技術試験	演習			
7	点滴・ドレーン等を留置していない患者の寝衣交換、している患者の寝衣交換	演習			
8	足浴・手浴	演習			
9	清拭	演習			
10	洗髪	演習			
11	入浴・シャワー浴の介助、新生児の沐浴・清拭	演習			
12	陰部の保清	演習			
13	整容、精神的安寧を保つためのケア	演習			
14	技術試験	演習			
15	まとめ	演習			
備考	著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる。 提出物が期限に遅れた場合、原則としてその提出物は評価対象外となる。 常に技術到達水準を持参し、各自で到達度を確認しながら学習する。				
評価方法	小テスト、演習レポート、演習への参加態度、技術テストを実施し、看護技術ポートフォリオを作成、それらをルーブリックに照らして評価する。				
使用テキスト	1)系統学看護学講座 [1] 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院. 2)系統学看護学講座 [2] 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 3)川島みどり監修;ビジュアル 基礎看護技術ガイド, 照林社 4)坂本すが他;完全版ビジュアル 臨床看護技術ガイド, 照林社				
参考図書	1)藤本真紀子他:看護がみえるvol.1 基礎看護技術,メディックメディア, 2018. 2)近藤一郎他:看護がみえるvol.2 臨床看護技術,メディックメディア, 2018. 3)黒田裕子監修;看護診断のためのよくわかる中範囲理論, Gakken 4)川村治子;医療安全ワークブック 第4版, 医学書院, 2018.				

専門分野

科目	日常生活援助技術Ⅲ Everyday Life Support Technology Ⅲ	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	サクライ シホ 櫻井志保 スズキ サユカ 鈴木紗有香
		実施時期	1年次 後期		
授業概要	看護技術を適応するのは健康問題を有する人間であるため、その技術を実践する際も安全、安楽、自立(自律)、コミュニケーション、観察を含め、対象の内部環境に直接影響を与える活動・休息、食事、排泄の援助を修得する。				
DPとの関連	DPI-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPI-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPII-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPII-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	移乗介助①<車椅子での移送、ストレッチャー移送、歩行>			講義・演習	
2	移乗介助②<体位交換を利用した移乗介助>			講義・演習	
3	食事介助①(嚥下障害のある患者を除く)、口腔ケア			講義・演習	
4	食事介助②(嚥下障害のある患者を除く)、口腔ケア		櫻井	講義・演習	
5	経管栄養法による流動食の注入、経鼻胃チューブの挿入			講義・演習	
6	酸素吸入療法の実施、ネブライザーを用いた気道内加湿			講義・演習	
7	口腔内・鼻腔内吸引、気管内吸引			講義・演習	
8	排泄援助(床上、ポータブルトイレ)			講義・演習	
9	排泄援助(オムツ交換 陰部洗浄含む①)			講義・演習	
10	排泄援助(オムツ交換 陰部洗浄含む②)		鈴木紗	講義・演習	
11	膀胱留置カテーテルの留置、導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入			講義・演習	
12	浣腸			講義・演習	
13	摘便・ストーマ管理			講義・演習	
14	技術試験(食事介助+口腔ケア)		櫻井・鈴木紗	演習	技術テスト
15	技術試験(オムツ交換+陰部洗浄)		櫻井・鈴木紗	演習	技術テスト
備考	著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる。 提出物が期限に遅れた場合、原則としてその提出物は評価対象外となる。 常に技術到達水準を持参し、各自で到達度を確認しながら学習する。				
評価方法	演習レポート、演習への参加態度、実技試験を実施し、看護技術手順書を作成、それらをルーブリックに照らして評価する。				
使用テキスト	1)系統学看護学講座 [1] 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院. 2)系統学看護学講座 [2] 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 3)川島みどり監修;ビジュアル 基礎看護技術ガイド, 照林社 4)坂本すが他;完全版ビジュアル 臨床看護技術ガイド, 照林社				
参考図書	1)藤本真紀子他:看護がみえるvol.1 基礎看護技術,メディックメディア, 2018. 2)近藤一郎他:看護がみえるvol.2 臨床看護技術,メディックメディア, 2018.				

専門分野

科目	暮らしと看護	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	アワイミサ 栗井美里
	Living and Nursing	実施時期	1年次 後期		
授業概要	地域に出向き、住民の暮らしている環境の中で、実施されているフォーマルサービスやインフォーマルサービスの実際を知る。				
DPとの関連	DP I-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DP III 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。 DP IV-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	看護が提供される場の広がり — 実習を振り返る			講義・演習	
2	中東遠地域の保健医療と健康指標			講義	
3	中東遠地域の暮らし、生活、健康			講義	
4	自分の住んでいる地域にある医療保健福祉施設やサービスを知ろう！ ワーク			講義・演習	
5	自分の住んでいる地域にある医療保健福祉施設やサービスを知ろう！ ワーク			演習	
6	自分の住んでいる地域にある医療保健福祉施設やサービスを知ろう！ 発表			講義・演習	
7	中東遠地域で提供されるサービス・フィールドワーク準備			講義	
8	フィールドワーク「看護の社会科見学: 中東遠地域で提供されるサービスの実際」			フィールドワーク	
9	フィールドワーク「看護の社会科見学: 中東遠地域で提供されるサービスの実際」			フィールドワーク	
10	フィールドワークに行ってみて			講義・演習	
11	中東遠地域の社会資源マップを作ろう！ グループワーク			演習	
12	中東遠地域の社会資源マップを作ろう！ グループワーク			演習	
13	中東遠地域の社会資源マップを作ろう！ 発表			演習	
14	中東遠地域の社会資源マップを作ろう！ 発表			演習	
15	まとめ			講義・演習	
備考	フィールドワークは事前に調べた地域にある施設へ実際に足を運び、立地環境や施設の特徴などを知る。				
評価方法	講義・ワークに取り組む態度、ルーブリック、課題、レポートで評価する。				
使用テキスト	1) 系統看護学講座 地域・在宅看護論〔1〕地域在宅看護の基盤, 医学書院. 2) 系統看護学講座 地域・在宅看護論〔2〕地域・在宅看護の実践, 医学書院. 3) 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔3〕社会保障・社会福祉, 医学書院.				
参考図書					

専門分野

科目	地域在宅看護 I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	キムラヒロミ 木村弘美
	Local Home Nursing I	実施時期	1年次 前期		
授業概要	地域に興味・関心を寄せ、そこに住む人々の暮らしやニーズ、実施されている保健・医療・福祉の実際を学ぶ。				
DPとの関連	DP I-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DP II-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DP III 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	人々の暮らしの理解	講義・ワーク			
2	地域・在宅看護の役割	講義・ワーク			
3	暮らしと地域	講義・ワーク			
4	地域包括ケアシステムと地域共生社会	講義・ワーク			
5	地域・在宅看護の対象者	講義			
6	家族の理解	講義			
7	暮らしを支える地域・在宅看護	講義			
8	広がる看護の対象と提供方法	講義			
9	地域におけるライフステージに応じた看護	講義			
10	地域での暮らしにおけるリスクの理解	講義			
11	地域での暮らしにおける災害対策	講義			
12	さまざまな場、さまざまな職種で支える地域での暮らし	講義			
13	おもな地域・在宅看護実践の場	講義			
14	地域における多職種連携	講義			
15	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用	演習			
備考					
評価方法	評価方法: 講義・ワークに取り組む態度、課題の成果物・発表(ルーブリック)、レポート				
使用テキスト	1) 系統看護学講座 地域・在宅看護論[1], 地域・在宅看護論の基盤, 医学書院.				
参考図書	1) ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア, メディカ出版, 2021. 2) 池西静江: 基礎からわかる 地域・在宅看護論, 照林社, 2021.				

専門分野

科目	成人看護のアプローチ	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	サクライ シホ 櫻井志保
	Adult Nursing Approach	実施時期	1年次 後期		
授業概要	<p>日常的に起こりうる症状から、気づきの思考、対象を全体的に捉える視点を持ち、臨床判断できる力を身につけられるようにしていく。 事例を通して、起きている現象を考え、対象を生活者の視点として捉える力を養う。</p>				
DPとの関連	<p>DP I-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DP II-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DP III 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。</p>				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	ライフサイクルから見た成人者の健康問題	講義・演習・ワーク			
2	健康状態から対象を全体的に視るとは 必要な看護の視点とは	講義・演習・ワーク			
3	臨床判断プロセス① 気づきく実習場面から考えよう①>	講義・演習・ワーク			
4	臨床判断プロセス① 気づきく実習場面から考えよう②>	講義・演習・ワーク			
5	臨床判断プロセス② 解釈く実習場面から考えよう①>	講義・演習・ワーク			
6	臨床判断プロセス② 解釈く実習場面から考えよう②>	講義・演習・ワーク			
7	臨床判断プロセス③④ 反応・省察く実習場面から考えよう>	講義・演習・ワーク			
8	症状から何が起きているのか臨床判断してみよう① (呼吸困難・発熱)	講義・演習・ワーク			
9	症状から何が起きているのか臨床判断してみよう② (腹痛・高血圧)	講義・演習・ワーク			
10	症状から何が起きているのか臨床判断してみよう③ (食欲不振・便秘)	講義・演習・ワーク			
11	対象を捉えるためのカルテの情報は何が必要??	講義・演習・ワーク			
12	患者を捉えるために情報、図をイメージして書いていこう	講義・演習・ワーク			
13	患者を捉えるために看護記録を書いていこう	講義・演習・ワーク			
14	受け持ち患者を交替して申し送りをしていこう	講義・演習・ワーク			
15	対象を生活者として捉えるとは	講義・演習・ワーク			
備考	<p>※著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる。 ※レポート、課題等の提出が期限に遅れた場合、原則として提出が不可能となる。 ※状況により各回数が前後する場合がある。 ※マイクロソフトチームズやスクールタクト等ICTを活用する。 ※授業参加にあたり事前学習や事後学習は必須である、準備を整えて授業に参加すること。</p>				
評価方法	<p>講義時間の2/3以上の出席で評価対象となる 評価方法:講義・演習中の態度、グループワークへの参加状況、課題提出状況により総合的に評価する。ペーパー試験は実施しない。</p>				
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学① 成人看護学総論 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学④ 臨床看護総論 高木永子監修;看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント</p>				
参考図書	<p>アセスメントに自信がつく臨床推論入門: 看護の臨床判断能力を高める推論トレーニング 臨床判断ティーチングメソッド 看護がみえる 看護過程の展開 アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する与えられた学びから意志ある学びへ</p>				

専門分野

科目	老年者の理解	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 教員	ウチヤマ ユミ 内山由美 シニアクラブ 袋井市
	Understanding of the Elderly	実施時期	1年次 後期		
授業概要	<p>老年看護学の対象となる老年者を、社会的存在の生活者として理解するために、身体的老化だけでなく、その人の人生や影響を受けた社会変動、環境など多面的に理解し、老年者の健康と生活を支える専門職としての基本的な考え方や姿勢を学ぶ。</p>				
DPとの関連	<p>DP I -1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。                  DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。                  DPIII 社会の動向に関心を持ち続け、中東連地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。                  DPIV-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。</p>				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	加齢現象を体感する～老年者疑似体験～	演習			
2	加齢現象を理解する	GW	レポート		
3	加齢現象が生活・健康に及ぼす影響について考える	GW			
4	祖父母のライフストーリーから、老年者の生きてきた時代背景をみる	GW	夏季課題		
5	老年期の統計学的輪郭と保健福祉制度について	講義			
6	老年者の「その人らしい生活」とは？～老年者参加授業～	演習	レポート		
7	老年期の発達課題と多様な価値観について考える	GW			
8	老年看護の特徴とその役割について考える	講義			
備考	<p>講義や演習を通して各自が考え、意見を持ち寄ってグループ討論し、学んでいきます。積極的に参加し、老年看護観を深めてください。</p>				
評価方法	<p>課題提出、科目試験により評価する(出席状況、受講態度も加味する)</p>				
使用テキスト	<p>1) 系統看護学講座 老年看護学, 医学書院.                  2) 図説 国民衛生の動向, 厚生労働統計協会.</p>				
参考図書	<p>1) 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論, 医学書院.                  2) 古田愛子: 写真でわかる高齢者ケアアドバンス, インターメディカ, 2(                  3) 山田律子, 内ヶ島伸也: 生活機能からみた老年看護過程, 医学書院, 2020.</p>				



専門分野

科目	子どもの健康と看護	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 教員	マツウラトモヨ 松浦朋代
	Pediatric Health and Nursing	実施時期	1年次 前期		
授業概要	<p>子どもの健康の維持増進について学ぶ。子どもは成長発達している途中であり、大人のように健康を自己管理することができない。そのため、子どもの健康を守るためには、健康を育み支え守ってくれる家族の支援が必要である。しかし、その家族も健康でなければ健康な発育はできない。子どもと家族の健康を守るために環境調整がなぜ必要なのか、またその環境とはどんなものが含まれているのかについて、看護の視点で学ぶ。</p>				
DPとの関連	<p>DP I -1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。                  DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。                  DPⅢ 社会の動向に関心を持ち続け、中東連地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。</p>				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	子どもとは 子ども観の変遷と諸外国との違い	講義・GW			
2	子どもを看護するとは 子どもの看護の特徴	講義・GW			
3	子どもの最善の利益を守るかかわり 子どもの権利	講義・GW			
4	子どもを取り巻く社会環境①家族のアセスメント	講義・GW			
5	子どもを取り巻く社会環境②法律と政策	講義・GW			
6	子どもを取り巻く社会環境③学校保健、予防接種	講義・GW			
7	子どもの成長を育む関わり	講義・GW			
8	子どもの看護の課題	講義・GW			
備考	<p>個人ワークとグループワークを適宜取り入れて授業を展開する。                  進度等により、授業の内容・順番については、変更することがある。</p>				
評価方法	<p>授業への取り組み姿勢、態度、ルーブリック、筆記試験により総合的に評価する。</p>				
使用テキスト	<p>1)系統看護学講座 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総                  2)系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院.                  3)新訂2版 写真でわかる小児看護技術アドバンス, インターメディカ.</p>				
参考図書	<p>1)ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護, メディカ。                  2)ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術, メディカ出版                  3)ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護, メディカ出版。                  4)江本リナ:小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア第8版, 日総研, 2016.</p>				

専門分野

科目	子どもの看護 I Pediatric Nursing I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当教員	マツウラトモヨ 松浦朋代 ヤマシタタイヘイ 山下泰平 ミノキヌヨ 水野絹代
		実施時期	1年次 後期		
授業概要	健康障害があり、継続治療が必要な子どもと家族の看護を学ぶ。病気や障害を持ちながら生活している子どもと家族はいろいろな思いを持ちながら生活をしている。子どもが社会への孤立や通院拒否、治療拒否がなく生活するためには、どんなことが必要であるのか看護していく上で考える事が大切である。子どもと家族の心理状況や生活におけるストレスを理解し、その子らしい生活を送るために、看護だけではなく多職種と連携する意味を学ぶ。				
DPとの関連	DP I -1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DP II -1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DP II -2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DP III 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	病気や障害に対する子どもの理解や影響			講義・GW	
2	子どもを対象とする外来の特徴と看護			講義・GW	
3	外来における子どもと家族の看護			講義・GW	
4	在宅医療の環境と看護			講義・GW	
5	在宅医療の子どもと家族の看護			講義・GW	
6	在宅医療の子どもと家族の看護(小児アレルギーエデュケーター:PAE)			講義・GW	
7	慢性期にある子どもと家族の看護について ①事例展開			講義・GW	
8	慢性期にある子どもと家族の看護について ②事例展開			講義・GW	
9	慢性期にある子どもと家族の看護について ③事例展開			講義・GW	
10	在宅療養中の子どもと家族の看護について ①事例展開			講義・GW	
11	在宅療養中の子どもと家族の看護について ②事例展開			講義・GW	
12	在宅療養中の子どもと家族の看護について ③事例展開			講義・GW	
13	年齢に見合ったセルフケア能力の育成について 成人期への移行を目指した支援①			講義・GW	
14	年齢に見合ったセルフケア能力の育成について 成人期への移行を目指した支援②			講義・GW	
15	年齢に見合ったセルフケア能力の育成について 成人期への移行を目指した支援③			講義・GW	
備考	個人ワークとグループワークを適宜取り入れて授業を展開する。 進度等により、授業の内容・順番については、変更することがある。				
評価方法	授業への取り組み姿勢、態度、ルーブリック、筆記試験により総合的に評価する。				
使用テキスト	1)系統看護学講座 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院. 2)系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院. 3)新訂2版 写真でわかる小児看護技術アドバンス, インターメディカ.				
参考図書	1)ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護, メディカ出版. 2)ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術, メディカ出版. 3)ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護, メディカ出版. 4)江本リナ:小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア第8版, 日総研, 2016.				

専門分野

科目	母性と理論	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 教員	スズキサユカ 鈴木紗有香
	Matherhood and theory	実施時期	1年次 前期		
授業概要	母性および母性看護に関わる概念を学び、母性看護の対象を全体論でとらえるために必要な理論を学習する。				
DPとの関連	DP I -1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	1. 健全な母性育成を障害された事例から考える 母性とは・親になるとは	講義とワーク	課題		
2	1. 健全な母性育成を障害された事例から考える 母性とは・親になるとは	講義とワーク			
3	2. 母性看護の対象の身体的特徴	講義とワーク	小テスト		
4	2. 母性看護の対象の身体的特徴	講義とワーク			
5	2. 母性看護の対象の心理的特徴、社会的特徴	講義とワーク	小テスト		
6	2. 母性と理論	講義とワーク			
7	3. 母性看護の変遷と動向	講義			
8	3. 母性看護とは	講義とワーク			
備考					
評価方法	定期テスト及び、レポート、授業計画内の小テストにより評価する。 課題はルーブリックにより評価する。				
使用テキスト	1) 系統看護学講座 母性看護学[1]母性看護学概論, 医学書院. 2) 系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論, 医学書院.				
参考図書	授業内で紹介する				

専門分野

科目	母子の看護 I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	コンドウ ユミ マツウラキョウコ 近藤由美 松浦香子 イトウ ヨウコ 伊藤葉子
	Maternal nursing I	実施時期	1年次 後期		
授業概要	特徴的な生理をもつ妊娠期・分娩期の理解を深め、マタニティサイクルにある母子が正常に経過するための看護および健康維持に必要な技術を学ぶ。また、正常を逸脱した対象の看護を学習する。				
DPとの関連	DP I-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	1. 妊産婦の健康障害事例 妊娠高血圧症候群の妊婦の事例の情報収集	講義とワーク			
2	1. 妊産婦の健康障害事例 帝王切開分娩となった産婦の事例の情報収集	講義とワーク			
3	1. 妊産婦の健康障害事例 事例のアセスメント	講義とワーク	ルーブリック		
4	2. 妊産婦の生理と看護 妊娠期の生理、看護の原則、妊婦健康診査、保健指導	講義(外部)			
5	2. 妊産婦の生理と看護 分娩期の生理、看護の原則、入院時と各期の看護	講義(外部)			
6	2. 妊娠・分娩期の臨床判断	講義			
7	3. 妊娠期の看護技術 妊娠高血圧症候群の妊婦の看護課題(診断)と計画	講義とワーク	ルーブリック		
8	3. 妊娠期の看護技術 妊婦体験、保健指導、妊婦健診に関わる技術、妊婦体操	演習	レポート		
9	3. 妊娠期の看護技術 指導案発表	演習	ルーブリック		
10	4. 分娩期の看護技術 帝王切開分娩となった産婦の事例の看護課題(診断)と計画	講義とワーク	ルーブリック		
11	4. 分娩期の看護技術 産痛緩和、呼吸法、アクティブバース、自己効力感への援助	演習	レポート		
12	5. 妊娠・分娩期の健康障害と看護 健康障害事例の状況設定問題	講義とワーク			
13	5. 妊娠・分娩期の健康障害と看護 妊娠期の健康障害	講義			
14	5. 妊娠・分娩期の健康障害と看護 分娩期の健康障害	講義			
15	5. 妊娠・分娩期の健康障害と臨床判断	講義			
備考					
評価方法	定期テスト及び、授業計画内のワークの成果物、レポート、発表内容、授業への参加態度により評価する。ワークによる成果物はポートフォリオにまとめて提出する。				
使用テキスト	1) 系統看護学講座 母性看護学[1]母性看護学概論, 医学書院. 2) 系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論, 医学書院. 3) 佐世 正勝、石村 由利子:ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図 医学書院				
参考図書	1) 井上裕美、竹内正人:病気がみえる 産科 第4版, MEDIC MEDIA、2018. 2) 前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ母性 I・II, 中央法規, 2011.				

専門分野

科目	精神の基礎	単位数 (時間)	1単位 (15時間)	担当 教員	マツオ コウジ 松尾浩司
	The Basics of Psyche	実施時期	1年次 前期		
授業概要	精神の機能と構造から人を理解する。 精神の健康が侵された時に起こる諸問題について理解する。				
DPとの関連	DP1V-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	心のケアと現代社会 精神看護学の基本的な考え方			講義・GW	確認テスト
2	精神の健康とは、危機介入とストレス理論			講義・GW	確認テスト
3	人間の心の諸活動			講義・GW	確認テスト
4	心の仕組みと人格の発達			講義・GW	確認テスト
5	様々な理論家について			講義・GW	確認テスト
6	人間関係としての家族、集団(人格形成とその後の人生への影響)			講義・GW	確認テスト
7	精神を病むことと生きること			講義・GW	確認テスト
8	精神保健福祉の変遷について			講義・GW	確認テスト
備考	※配布された資料は全て熟読し、内容を理解して授業に臨むこと ※著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる ※提出物に関して、期限に遅れた場合、原則として提出が不可能となる ※GW=グループワーク				
評価方法	授業態度、課題レポート、筆記試験、ルーブリックなどにより総合的に判断する。 (それぞれの点数配分については授業内で提示する) 45分未満の欠課は-1点、欠席は-2点 提出遅れの場合は、その提出物の点数は0点、未提出の場合は、0点と-1点 ※倫理的に問題のある行動が見られた場合は、状況に応じたペナルティが与えられる。				
使用テキスト	1)系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学[1], 医学書院. 2)系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学[2], 医学書院. 3)山本勝則:看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術, メヂカルフレンド社, 2015.				
参考図書	適宜紹介する				

専門分野

科目	精神科看護 I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	マツオ コウジ ナカヤマチ ヒロ 松尾浩司 中山千裕 イツミ カツミ 五十棲勝美
	Psychiatric Nursing I	実施時期	1年次 後期		
授業概要	<p>精神障害者に対する治療的コミュニケーションや集団に対するアプローチの方法など精神科看護に必要な技能を学ぶ。 体験を通して、精神科看護に必要な、自己理解、対象理解、治療的対人関係技術を習得する。</p>				
DPとの関連	<p>DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DP II -1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DP II -2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DP IV -2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。</p>				
回	授業計画	方法	テスト等		
1	精神症状のある患者を捉える視点(事例紹介)	演習	電子カルテ		
2	精神症状のある患者への看護介入(統合失調症患者への対応実践)	演習	プロセスレコード		
3	精神症状のある患者への看護介入(うつ病患者への対応実践)	演習	プロセスレコード		
4	患者対応実践後プロセスレコード検討(統合失調症)	演習			
5	患者対応実践後プロセスレコード検討(うつ病)	演習			
6	看護介入を振り返る(何に気づいたの?)	演習			
7	看護介入の振り返(患者の中でどんなことが起こっているんだろう?)	演習			
8	精神症状のある患者へのケア及び全体像を考える	演習			
9	精神症状のある患者へのケアを考える(グループ内発表)	演習			
10	集団精神療法の実際(レクリエーション、SST)	演習			
11	レクリエーションの企画、準備①	演習			
12	レクリエーションの企画、準備②	演習			
13	レクリエーションの実際(披露型)	演習			
14	レクリエーションの実際(参加型)	演習			
15	SSTの実際	演習	ノート、評価表		
備考	<p>※配布された資料は全て熟読し、内容を理解して授業に臨むこと ※著しく受講態度が悪い場合、身だしなみが整っていない場合は欠席扱いとなる ※提出物に関して、期限に遅れた場合、原則として提出が不可能となる</p>				
評価方法	<p>授業態度、課題レポート、筆記試験、ルーブリックなどにより総合的に判断する。 (それぞれの点数配分については授業内で提示する) 45分未満の欠課は-1点、欠席は-2点 提出遅れの場合は、その提出物の点数は0点、未提出の場合は、0点と-1点 ※倫理的に問題のある行動が見られた場合は、状況に応じたペナルティが与えられる。</p>				
使用テキスト	<p>1) 系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学[1], 医学書 2) 系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学[2], 医学書 3) 山本勝則: 看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術, メヂカルフレンド社, 2015. 4) 大森武子: 仲間とみながく看護のコミュニケーションセンス, 医歯薬出版(株), 2003.</p>				
参考図書	<p>適宜紹介する</p>				

専門分野

科目	看護マネジメント	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	スギヤ ミ ユキ スズキ マリ 杉谷美幸 鈴木真理 ツシマ ジュンコ 津島 準子		
	Nursing management	実施時期	1年次 前期				
授業概要	看護管理における基礎的知識を習得し、看護をマネジメントするための基礎的能力を養う。						
DPとの関連	DPⅡ-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPⅠ-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPⅠ-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPⅡ-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPⅢ 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。						
回	授業計画			方法	テスト等		
1	ガイダンス 看護とは	↑	杉谷	講義			
2	看護とマネジメント			講義			
3	看護ケアのマネジメント			講義			
4	看護サービスのマネジメント			講義			
5	看護とマネジメント			講義・演習			
6	看護ケアのマネジメント			講義・演習			
7	看護ケアのマネジメント			講義・演習			
8	看護サービスのマネジメント			講義・演習			
9	看護サービスのマネジメント			講義・演習			
10	マネジメントに必要な知識と技術			↓	真理	講義・演習	
11	マネジメントに必要な知識と技術					講義・演習	
12	看護を取り巻く諸制度			↑	津島	講義・演習	
13	看護と経営					講義・演習	
14	看護マネジメントの実際					講義・演習	
15	まとめ			↓	真理	講義・演習	
備考	途中マネジメント実習を挟む						
評価方法	筆記試験・授業態度・提出物ルーブリックにより総合的に判断する。						
使用テキスト	1) 系統看護学講座 看護の統合と実践〔1〕看護管理, 医学書院. 2) 系統看護学講座 クリティカルケア看護学, 医学書院						
参考図書	1) 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔1〕医療概論, 医学書院. 2) 系統看護学講座 総合医療論, 医学書院. 3) 系統看護学講座 看護倫理, 医学書院. 4) 系統看護学講座 看護の統合と実践〔2〕医療安全, 医学書院						

専門分野

科目	臨床判断実習	単位数 (時間)	1単位 (90時間)	担当 教員	看護教員
	Clinical Judgment Training	実施時期	1年次 後期		
授業概要	個々の患者に応じた個別的で一回性の看護を行うために、看護師が何をどのように観察し、その情報をアセスメントして、看護援助を行っているのかを学ぶ				
DPとの関連	DP I -1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DP II -1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DP II -2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DP IV -2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DP IV -3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
授業計画	<実習目的> 看護を実践するために看護師はどのように臨床判断をしているのかを習得する  <実習方法> 臨地実習4日 臨地実習では、病棟看護師に付きシャドーイングする シャドーイングでは、病棟看護師の行動やインタビューから看護師の思考過程を知る 状況に応じ病棟看護師のケアを見学・参加する 学内実習1日 学内実習では臨床判断シートを活用しグループの学びをまとめ、発表を行い共有化を図る *グループのまとめはスクールタクトに作成する  <実習記録> リフレクション 臨床判断シート 行動計画 学びの要約				
評価方法	実習要綱の内容に沿ってルーブリックで評価する。				
使用テキスト	1)系統学看護学講座 [1] 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院. 2)系統学看護学講座 [2] 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院.  この他、各科目で使用した資料、講義ノート、実習要綱に提示された文献等				
参考図書	1)川村治子;医療安全ワークブック,医学書院. 2)横山美樹;はじめてのフィジカルアセスメント, メヂカルフレンド社. この他、解剖生理学、病態学、薬理学、検査等のテキスト等				



専門分野

科目	暮らしと看護実習	単位数 (時間)	1単位 (45時間)	担当 教員	看護教員
	Living and Nursing Training	実施時期	1年次 前期		
授業概要	地域における様々な施設に行き、対象となる人々の生活を見学し、関わりの中から生活を知る。そのうえで、「暮らしを知る」ことの意味を考える。				
DPとの関連	DP I -1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DP I -2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DP II -1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DP II -2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DP III 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。 DP IV -1 キャリアデザインを描き、看護に魅力を感じ卒業後看護専門職として働き続けられるようなビジョンを明確にすることができる。 DP IV -2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DP IV -3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
授業計画	<b>実習目的</b> 〈本質的な問い〉 ・地域の人々はどのような暮らしをしているのか ・看護をする上でなぜ暮らしを知る必要があるか  <b>実習方法</b> 3名のグループで学習する。 臨地実習は2日間で2か所の実習先で計4日間の実習とする。 最終日は学内とし、臨地実習での学びをまとめる。  <b>実習記録</b> 所定の記録用紙・リフレクション用紙を用いる				
評価方法	別に示すルーブリック評価表による 全体の2/3以上の出席をもって、実習要綱に沿って単位を認定				
使用テキスト	1)系統看護学講座 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基礎, 医学書院 その他のテキストや授業資料				
参考図書	1)池西静江;基礎からわかる 地域・在宅看護論,照林社				

統合分野

科目	マネジメント実習	単位数 (時間)	1単位 (45時間)	担当 教員	看護教員
	Management Training	実施時期	1年次 前期		
授業概要	良質な医療や看護を提供するための病院の組織や各職種の役割や業務を知る。				
DPとの関連	DPⅡ-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPⅠ-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPⅠ-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPⅡ-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPⅢ 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。 DPⅣ-1 キャリアデザインを描き、看護に魅力を感じ卒業後看護専門職として働き続けられるようなビジョンを明確にすることができる。 DPⅣ-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DPⅣ-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
授業計画	病院実習(1～4日間) 病院組織における業務管理・人事管理・物品管理・安全管理、倫理、教育、経営について講義、 実際を学ぶ 看護部長又は副看護部長や看護師長から説明を受け行動を共にしてスキルを学ぶ  学内実習(1日間) 学内実習の1日間は実習のまとめ・発表を通して共有化を図る				
評価方法	実習要綱の内容に沿ってルーブリックで評価する。				
使用テキスト	1) 系統看護学講座-看護統合分野1 看護の統合と実践[1]看護管理第10版, 医学書院 2) 系統看護学講座-看護統合分野2 看護の統合と実践[2]医療安全第4版, 医学書院 3) 系統看護学講座-別巻 看護倫理 第2版, 医学書院				
参考図書	1) 系統看護学講座-別巻 総合医療論 第2版, 医学書院 2) 系統看護学講座-専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[1]医療概論, 医学書院 3) 系統看護学講座-別巻 クリティカルケア看護学, 医学書院				

専門分野

科目	臨床看護実習	単位数 (時間)	2単位 (90時間)	担当 教員	看護教員
	Clinical nursing training	実施時期	1年次 後期		
授業概要	治療の場における看護師の役割を看護師に同行し、患者と接しながら学ぶ。また、多職種連携についても学ぶ。				
DPとの関連	DPⅡ-1 専門職として、看護の対象との関係形成や多職種と連携するために必要な社会人としての基礎的能力を身につけることができる。 DPⅠ-1 対象に専心し、倫理を基盤に、よりよい看護を実践しようと努力し、看護を創造することができる。 DPⅠ-2 回復力や生きる力を引き出せるような質の高い一回性の看護を実践するための能力を身につけることができる。 DPⅡ-2 チーム内のそれぞれの役割を理解し、連携して質の高い医療を提供するためのコミュニケーション力を有し、状況に応じた報告、連絡、相談をすることができる。 DPⅢ 社会の動向に関心を持ち続け、中東遠地域の保健、医療、福祉の強みを含めた状況を知り、地域に貢献するために自己の役割を果たすことができる。 DPⅣ-1 キャリアデザインを描き、看護に魅力を感じ卒業後看護専門職として働き続けられるようなビジョンを明確にすることができる。 DPⅣ-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DPⅣ-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。				
授業計画	臨地実習8日間（うち夜勤実習1日） 看護師に同行し、看護師(医療者側の)目線で患者と接しながらシャドーイングする。  シャドーイングの対象 リーダー看護師 受け持ち看護師 外来看護師 夜勤看護師 多職種(薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学士・看護助手等)  学内実習1日 実習のまとめ・発表を通して共有化を図る。				
評価方法	実習要綱の内容に沿ってルーブリックで評価する。				
使用テキスト	1)系統看護学講座 基礎看護学[4] 臨床看護総論, 医学書院 2)系統看護学講座 基礎看護学[1] 看護学概論 第17版,医学書院 3)系統看護学講座-別巻 クリティカルケア看護学, 医学書院				
参考図書	適宜紹介する				

専門分野

科目	キャリア形成 I	単位数 (時間)	1単位 (30時間)	担当 教員	ナクラサトミ 長倉里美 アワイミサトウチヤマユミ 栗井美里 内山由美
	Career Formation I	実施時期	1年次 通年		
授業概要	有意義な学生生活を送るために、各種ガイダンスを受けるとともに、キャリア形成を目指し、ポートフォリオ、異学年交流やプロジェクト学習に取り組み、社会人基礎力やキャリアプランニング能力を養う。				
DPとの関連	DPⅣ-1 キャリアデザインを描き、看護に魅力を感じ卒業看護専門職として働き続けられるようなビジョンを明確にすることができる。 DPⅣ-2 素直に自分の感情を表現し、他者の助言を受け入れ自己理解を深め、自ら学び成長しあう姿勢を持つことができる。 DPⅣ-3 たとえ困難があっても乗り越えようと努め、一人の人間としての意思や個性を尊重し 新たな課題に関心をもち、主体的に取り組むことができる。				
回	授業計画			方法	テスト等
1	1 ガイダンス 教育課程、学則・諸規程の理解、履修、実習・教室オリ			講義とワーク	
2	1 ガイダンス 看護学校での学習方法、看護師国家試験対策、ICT教育			講義とワーク	
3	2 キャリア形成とキャリアポートフォリオ キャリア形成、ポートフォリオ、計画			講義とワーク	
4	3 異学年交流と社会人基礎力 プロジェクト学習、社会人基礎力			講義とワーク	
5	4 職業アイデンティティとキャリアデザイン 看護観と目指す看護師像			講義とワーク	
6	4 職業アイデンティティとキャリアデザイン キャリアデザインとプランニング能力			講義とワーク	
7	4 職業アイデンティティとキャリアデザイン 就職ガイダンス(懇談会)			ワーク	
8	3 異学年交流と社会人基礎力 ポートフォリオ発表会			ワーク	
9	3 異学年交流と社会人基礎力 3年生のプロジェクト学習に参加			ワーク	
10	4 職業アイデンティティとキャリアデザイン 就職ガイダンス(マイナビ)			講義とワーク	
11	5 キャリアアップとキャリア開発 キャリアアップシンポジウム 卒業生			ワーク	
12	3 異学年交流と社会人基礎力 2年生のプロジェクト学習に参加			ワーク	
13	5 キャリアアップとキャリア開発(自分でできるキャリア開発)			講義とワーク	
14	5 キャリアアップとキャリア開発 キャリアアップシンポジウム 活躍する看護師			ワーク	
15	3 異学年交流と社会人基礎力 ポートフォリオ発表会			ワーク	
備考					
評価方法	授業中の課題、参加態度、レポートなどを別紙ルーブリックで評価する				
使用テキスト					
参考図書	1) 木本元: 教育学 系統看護学講座, 医学書院, 2021.				